



グループホーム「希望の家きちさわ葵館」 「希望の家きちさわ桜館」同時オープン!



ききょう会では平成18年度より地域移行を推進してまいりましたが、6番目のグループホームとして吉沢地区に「希望の家きちさわ葵館と桜館」の2棟の女性棟を開設しました。千葉県袖ヶ浦福祉センターの利用者の地域移行を推進するための整備補助金を受け、センターから2名の女性の入居を含めた合計12名のホームです。

長く施設入所されていた方が多く、世話人さんや生活支援員に食事や身の回りのことを援助してもらいながら、はじめての生活に不安があると思いますので、少しでも家庭的な雰囲気の中で暮らすことができるようにサポートしていきたいと思います。そして、入居者ひとりひとりが自分の考えを出して、自分の暮らしを作って行く場所としてのホームとなることを願っています。また、吉沢町会をはじめ、地域行事や、奉仕作業などに積極的に参加することで、笑顔で地域の方々と挨拶が交わせるようにしていきたいです。



新グループホームのメンバーです！

好きなことをいっぱいしたい

私らしく楽しく生活したい



サンリオピューロ
ランドでキティちゃんに
会いたい



ひとりでの
お部屋は少し不安



江の島水族館で
魚をいっぱい見たいな



おいしいもの
たべたいな



グループホーム一泊旅行



11月30日、どんよりとした天気にもかかわらず、楽しみにしていた皆の気持ちは晴れやかに銚子方面へ出発。初日は航空科学博物館、ひげた醤油工場を見学、絶景の宿・犬吠埼ホテルでは灯台や大海原を望む展望露天風呂に浸かり、地産の海産物と季節感のある料理を堪能しました。翌日、ノスタルジックな雰囲気銚子電鉄に乗り、レトロ感のある駅舎と車窓から眺める景色は、どこことなく小湊鉄道を彷彿させるものでした。

最後に立ち寄った刑部岬展望台では、キラキラと輝くオーシャンビューと緩やかな曲線を描く水平線に心を奪われる思い出深い旅となりました。

手をつなぐスポーツのつどい



晴れ渡る青空の下、10月11日に千葉県総合スポーツセンターで第44回手をつなぐスポーツの集いが開催されました。風も少なく絶好の運動会日和の中開催された為か、参加する利用者さんの顔は皆さん晴れやかで、パン食い競争や玉入れ、リレーでは、会場にあふれんばかりの声援に応えるように全力で楽しんでいました。

家族旅行



11月17日に家族旅行で横浜のオービィに行きました。オービィに着くとハリネズミやミーアキャットといった普段触ることのできない動物に触れたり、スクリーンに映る壮大な景観や疑似体験を楽しむ姿が見られました。午後からは各々でみなとみらい周辺を散策していただき、皆さん保護者さんとの楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

クリスマス&忘年会



今年は各利用者さんにフォトアルバムが配布され、来園された保護者さんと共に一年の生活を写真で振り返りました。催し物では、新人余興、「さんぽ」のダンスステージと共に、テーブル対抗の○×クイズや、参加者全員でのクリスマスソングの合唱など、会場が一体となるイベントが行われ大いに盛り上がる事が出来ました。

サッカー観戦



11月24日にサッカー観戦に行ってきました。向かう時の車内が静かだったのであまり興味が無いのかな? と思っていましたが、試合が始まって周りが盛り上がっていると皆さん応援グッズを片手に自分なりに声を出して応援していました。時間の関係上、残念ながら前半だけの観戦でしたが盛り上がりもすごく、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

吉沢学園3棟改装



女性利用者が、地域のGHに移行するにあたって、新たに短期で利用されていた方々が、3棟に入ります。そこで新たな方々が使いやすいように3棟が色々と改善され、綺麗になりました。様々な所が塗り直され、2部屋が吹き抜け状態だったところに壁が入り、本館と同じ完全な個室になりました。また、居室でテレビを見る事が出来る設備になり、余暇の幅が広がるようになりました。

餅つき大会



新しい年の幕開けと共に、みんなで餅つきを行おうと思っていたところ、各棟で体調不良者が出てしまい、少し遅めの餅つき大会となりましたが、少し前に降った雪が残る中、職員が捏ねた餅を利用者さんが楽しそうに眺めています。みんな自分なりの力で杵を振り下ろしていましたが、あまり力を込められていなかったため、職員が促し、全力で餅をついてもらいました。

市原市三和福祉作業所

さわやか芸能発表会

12月7日、さわやか芸能発表会に参加してきました。「新しい事に挑戦!!」を掲げ、今回は沖縄の「エイサー」に決定。DVDを見ながら何度も何度も練習を重ねる一方、さらに職員は衣裳や小道具の太鼓作りを行いました。三和らしい三和にしかできないアイデアで、全て手作りで挑んださわやか芸能発表。思い思いに踊ってやりきりました。残念ながら最優秀賞はもらえませんでした、それ以上に自分たちの頑張りが「勝ち」だと思っています。これからも三和エイサー隊は活動を続け、リベンジしたいと思います。



市原市三和福祉作業所



ハロウィン

10月31日と言えばハロウィン!! 三和福祉作業所でも世間に負けまいと、利用者さんも職員もそれぞれが仮装グッズを身につけ玄関前に勢ぞろいで、隣の保育所の子供達を迎えます。可愛い手作りマントで仮装した子供たちは、恐ろしい仮装を見て怖くて泣きそうになりながらも「トリック オア トリート(泣)!!」。

保育所の先生方も「本格的ですね。」と驚くほどの賑やかなハロウィンになりました。来年はどんなオバケが登場するのかな!?

親子遠足

10月20日、親子遠足で東京ディズニーシーに行ってきました。朝は雨が降り気になっていた天気も皆の願いが通じたのか、ディズニーシーに着くと雨も止み天候を気にする事なくパーク内を回る事が出来ました。パーク内ではキャラクターと写真を撮ったり、まさかの絶叫マシンに乗ったりと「楽しかった〜♪」と言う利用者さんの声を沢山聞く事が出来ました。帰りのバスではお土産と共に夢の中でした。



こどもステーション三和 (放課後等デイサービス)



「こどもステーション三和」では10月21日、少し早めのハロウィンパーティーを行いました。

午前中は、ハンバーガー作りとチーズフォンデュ作りを行いました。子どもたちには具材を切ってもらいのを手伝ってもらい、職員と一緒に包丁を持ち、真剣な眼差しで励んでいました。自分たちで作った事もあり、残すことなく食べる事が出来ました。

午後は、ハロウィンに合ったゲームや、子どもたちが仮装をして、おやつを食べようとした所、魔女が登場し子どもたちも驚いていましたが、プレゼントを貰い大満足な1日となりました。

こどもステーション牛久

今年も「小湊鉄道 里山トロッコ列車」に乗りました！まだ2回目という事もあり初めてトロッコ列車に乗る児童が多く、みんなワクワクドキドキで乗車しました。列車が発車する時には、ホームで見守る職員に見えなくなるまで手を振ってくれ、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。お昼には養老溪谷の窯焼きパンの店「酪」さんのおしゃれなカフェでランチをとり、ゆっくりとくつろいだ時間を過ごすことが出来ました。パンは、子ども達が食べられるものを特別に作ってもらい、パン屋さんに大変なご協力をいただき、快く私たちを迎え入れてくださったことに心より感謝申し上げます。



トロッコ列車にのったよ！
楽しいなあ～

調理実習楽しいな！



こどもステーション菊間

みんなが楽しみにしていたクリスマス会！今年も楽器作りやダンス、調理実習をしました。楽器作りでは、好きな材料を選んでオリジナルのマラカス作りに挑戦。自慢の楽器で音楽に合わせて演奏したり踊ったりとデイルームはダンススタジオのようでした♪ 昼食とおやつは調理実習。食べたい物をロールパンに挟んだサンドイッチ、クリームやフルーツをトッピングしたロールケーキ、自分達で作ったご飯は好評です。最後にはサンタさんからプレゼントをもらい、写真撮影。また1つお友達との楽しい思い出が増えました。

こどもステーション東国分寺台

こどもステーション東国分寺台では、この度「平成29年度NHK歳末たすけあい助成金」の交付を受けて、プレイクション、鍵付冷蔵庫、ダイニングチェア、キーボード(大)1台、(小)4台を購入させて頂きました。新しい椅子で食堂も見栄えが良くなり、プレイクションやキーボードも利用児達に大変好評で、有効に活用させて頂いています。また、鍵付の冷蔵庫で安心して食品の管理が行なえるようになりました。

赤い羽根共同募金様と赤い羽根共同募金にご協力をしてくださった皆様に、誌面をお借りして改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



イエーイ！

浅井小向デイサービスえん (地域密着型通所介護事業)



「節分の豆まきをしました。」

鬼のお面を利用者様と制作しました。お面の中には個性的な作品もあり談笑されておりました。「えんに福が来ますように」と、おたふくのお面を作られる利用者様もいらっしや、その丁寧さに皆さん関心されていました。

午後のレクリエーションの時間では、スタッフが鬼のお面をつけて豆まきの開始です。鬼を目がけて「鬼は外、福は内」と声を出しながら豆をまき、鬼に当たると歓声も上がり、とても盛り上がりました。

地域コラム

ガードレール清掃

地域奉仕の一環として、施設近隣のガードレールの清掃を行いました。清掃当日は、日和も良く、利用者さんと職員とでブラシを持って、汗をかきながらガードレールについているコケや汚れを一生懸命にこすって落としました。職員が「綺麗になったね。」と声を掛けると皆さん清々しい笑顔で自分たちが綺麗にしたガードレールを見ていました。



チバニアンに行って来ました

今回私たちは、今非常に有名な場所、チバニアンに行ってきました。どんな場所なのだろうと職員も利用者さんもドキドキです。道中地域の方やチバニアンを観てきた方たちに会い、挨拶をかわしながら向かって行ったのですが、道がかなり急で、かなり苦勞をしました。事前に長靴を履いて行ったのですが、川の近くにあるので皆様もチバニアンに行く際には長靴をお忘れなく。そして実際に行って皆様の目でチバニアンを観て頂ければと思います。

鳳来寺屋根修繕

吉沢町会には重要文化財 鳳来寺観音堂があります。昭和42年に建立され、地域の信仰の対象とされてきましたが、歴史的な遺産でもある観音堂をこれからも大地震や大風などから守るための安全性を高めるために現在補強工事と屋根の葺き替え工事を合わせて行っています。吉沢学園でも夏には利用者さんと一緒に草刈りなどを行い、地域奉仕させていただいています。



エミ美容室



平成29年度より、新たにエミ美容室さんが学園に来て利用者さんの散髪を行って下さっています。エミ美容室さんのおかげで、利用者さんの髪型のバリエーションが増え、利用者さんも散髪するときには今日はどんな感じになるのかなと楽しみにしています。ありがとうございます。

吉沢よりあいサロン



吉沢町会の高齢者の集まり「吉沢よりあいサロン」が地域で話題となっています。

毎月1回、地域のおばあちゃんたちが集まり、お茶を飲みながらおしゃ

べりする場として施設の一部を開放しています。お昼には栄養士が季節にちなんだメニューで昼食の提供をしています。吉沢地区では高齢化が進んでおりご自分で外出する機会がなかなか持てないという声に答えて送迎もしています。法人の地域貢献のひとつとして今後も地域に役立つ事業所となって地域を元気にしていきたいと考えています。

福祉ショップ & 喫茶もみの木

喫茶もみの木では、以前、期間限定でパンバイキングを行っていましたが、この度お客さまからの要望が多く5月から、第一土曜日11:00から14:00の3時間の間、パンバイキングを始めます。500円でサラダとドリンク付き(コーヒーor紅茶は飲み放題)で。焼きたての各種ミニパンと焼きたてのピザ6種類の予定で、色々な味をご賞味頂ければと思います。ご来店お待ちしております。



市原市生活困窮者自立支援事業

いちほら生活相談サポートセンター(市原市委託事業)

千葉県生活困窮者ネットワーク第4回実務者ミーティング(2月25日)

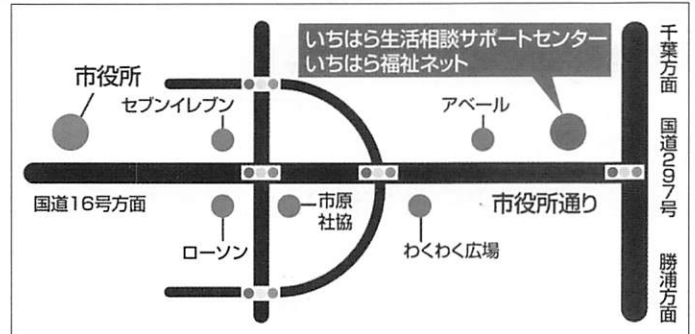


このミーティングは千葉県内の生活困窮者自立支援に係る関係者のネットワーク強化やスキルアップを目的としており、当センタースタッフも全員参加しています。毎回、相談現場が直面する問題を取り上げた講演があり、今回は妊娠にまつわる困難を抱える方への支援についてでした。思いがけない妊娠をし、経済的な理由や未婚、複雑な家庭環境など様々な要因で出産やその後の生活に迷いや不安を抱える方がいます。誰にも相談できずに孤立したり、妊娠・出産に伴い働けずに困窮したりと女性が抱える大きな問題の一つです。こうした機会を通じて学びを深め、相談者の方に寄り添った支援を行えるよう努めています。

中核地域生活支援センター

いちほら福祉ネット(千葉县委託事業)

中核地域生活支援センターは24時間365日体制で障害や高齢、児童といった分野を問わず、様々な生活上のお困りごとの相談をお受けする千葉県独自の事業です。市原圏域を担当する、いちほら福祉ネットの平成29年4月~12月までの相談は、5,288件(延べ件数)に上ります。『どこに相談すればいいかわからない...』『問題が複雑でどうしたらいいかわからない...』など、お困りのことがございましたらお気軽にご相談ください。相談は無料です!



法人内相談専門員 研修会



昨年10月から毎月1回、夕方17時から19時の2時間、法人内の相談部門職員を対象にした内部研修を行っています。

相談援助職として必要とされる知識や技術の習得を促し、資質向上を図るための取り組みです。研修は、いちほら生活相談サポートセンターの大戸センター長が講師を務め、講義・グループワークを行い、チーム支援の理解や、相談援助職として求められる支援者像を追求します。

研修後は、事業所を越えた職員の意見交換の場となり盛り上がりがあります。法人内の風通しを良くし、より良い職場作りを目指すと共に、これからも皆様の身近な相談機関としてお役に立てるよう努めていきます。

障害者グループホーム等支援事業(千葉県委託事業)

第9回千葉県障害者グループホーム大会



入居者、入居希望者交流会

シンポジウム 地域生活支援拠点におけるグループホーム



第9回グループホームトークセッション「利用者サミット」～私達の本音～



12月9日、「住み慣れたこの街で暮らすこと」をテーマに、第9回千葉県障害者グループホーム大会が開催されました。基調講演では、共生型サービス(高齢者と障害者が同じ場所で過ごせるサービス)や重度対応型グループホームなどの新たなサービス体系について説明がなされました。分科会では、地域生活支援拠点事業の実践報告、家族やグループホーム入居者の本音を語る場、障害当事者同士の交流会など、ブース毎に参加者との積極的な意見交換が行われ、グループホームへの理解が深まった大会となりました。

創立30周年記念イベントのお知らせ

日時:平成30年4月22日(日) 13:30~14:30

社会福祉法人ききょう会と吉沢学園はお陰様で今年30周年を迎えました。

その記念イベントとして、プロのデザイナーとプロのモデルによる本格的なファッションショーを企画致しました。

大正から昭和初期にかけて使われた絹の着物地を現代的ファッション感覚でよみがえらせ、モダンでユニークな作品を作りだしているデザイナーNORIさんのおしゃれな洋服たちをご披露いたします。同時に法人内の職員、利用者さんとそのご家族も出演しますのでお楽しみに。

お問い合わせは、吉沢学園
電話:0436-98-1562

編集
後記

皆様のおかげでききょう会も創立30周年となります。これからもききょう会一同邁進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

